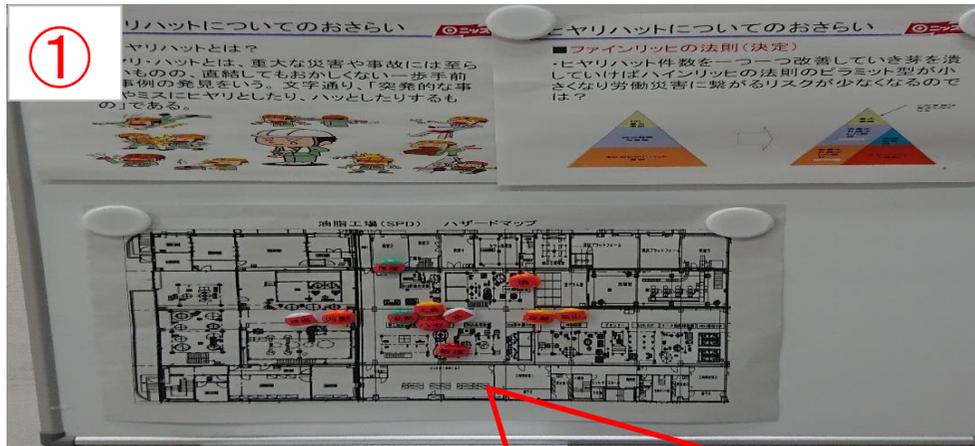
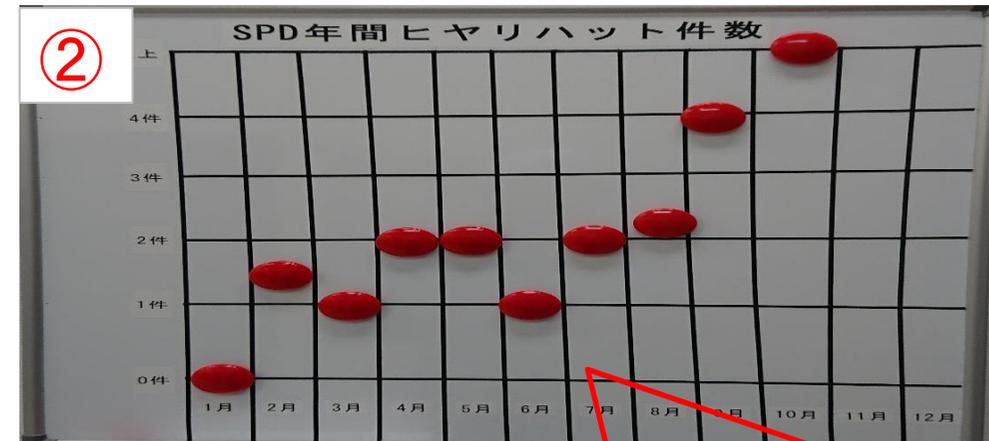


安全活動及び年間ヒヤリハット件数の見える化



・安全活動(インシデント箇所を定期的に個別でマグネットを貼ってもらい、担当者がヒヤリングし、ヒヤリに至る前に安全対策をしていく)



・年間のヒヤリハット件数を見る様にして増減傾向を把握し、現状の確認、今後の計画を立てていく。

- ・ファインリッヒの法則に基づき、インシデントの発生箇所から危険な状態などを撲滅させていく。
- ・安全活動①から今後のヒヤリハット報告の増減値を見る様にして傾向を把握していく。